



施設だより

ひこね市文化プラザ ☎26-8601 FAX 26-8602
11月の休館日：2月・9月・16月
・24日・30日

11月 5日(木) 19:00～
名曲の花束 ブルガリア弦楽室内合奏団
指定 **ソフィア・ゾリステン&ミラ・ゲオルギエヴァ**
◎「G線上のアリア」「ユーモレスク」「アヴェ・マ
リア」「ツィゴイネルワイゼン」などのクラシック
名曲選です。リラックスムードでご鑑賞ください。



11月 11日(水) 19:00～
「トミー・キャンベル 河合代介 岡安芳明
自由 **トリオ」レコーディング・ライブ**
-彦根オリジナル・ナンバー発表コンサート-
◎本公演の収録はCD化され、来春、発売予定です。
ライブ録音ならではの臨場感、入場者の息遣いが
醸し出すものです。
ぜひ、ご参加ください。
岡安さん作曲の彦根
オリジナル・ナンバー
もお楽しみに。



11月 22日(日) 11:45～
NHKのど自慢 公開録画
ゲスト：森 進一、原田 悠里
※出演・観覧受付は終了しました。

12月 12日(土) 19:00～ **金亀亭第4回落語ライブ**
指定 **立川志の輔独演会**
残席わずかです。完売の際はご容赦ください。

12月 20日(日) 14:00～
自由 **第12回 ひこね市民手づくり「第九」演奏会**

12月 24日(木) 19:00～
指定 **外山啓介クリスマス・ピアノリサイタル**

平成22年1月11日(月祝) 14:00～
ビッグバンド・ジャズ 新春コンサート
◎今秋の中学校舞台芸術鑑賞会に出演、市内7中学校
でジャズの楽しさを広めた京都コンポーザーズ・ジ
ャズ・オーケストラがグランドホールに登場しま
す。迫力満点のビッグバンドをお楽しみください。

自由 一般1,500円 学生500円 【好評発売中】



託児サービス・臨時バスの運行については、公演ごとに異なり
ます。詳しいことは、お問い合わせください

チケットのお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター ☎27-5200 (9:00～19:00)

彦根城博物館

11月の休館日はありません。
※11月30日(月)～12月2日(水)は展示替えの
ため、展示室を一部閉室しています。

開館時間 8:30～17:00 (入館は16:30まで)

10月30日(金)～11月29日(日)

直弼発見! 特別企画展 「政治の時代 - 井伊直弼と幕末の群像 -」

欧米列強国から開国
を迫られ、人びとの政
治意識が高揚した幕末
日本。国の将来をめぐ
って激しい政争が繰り
広げられた直弼の元老
政治の様相を、直弼と
対立した人びとの視点
を交えて紹介します。



▲井伊直弼像
(豪徳寺蔵)



▲モルチール砲
(武雄市図書館・歴史資料館蔵)

▶孝明天皇勅諭(観慮水解)
(個人蔵)



紅葉の名勝「旧彦根藩松原下屋敷 (お浜御殿)庭園」を特別公開

現在、整備の途中ですが、松原下屋敷の現状を期間限定で
特別に公開します。紅葉の名勝庭園をご堪能ください。

期間 11月14日(土)～同30日(月) 期間中無休

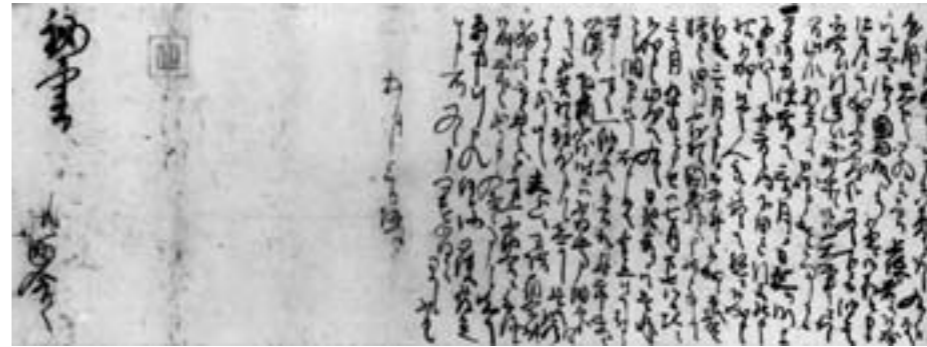
時間 9:00～16:00 (入園は15:30まで)

料金 無料

注意事項

- ◆公開は庭園のみで建物内は入れません。
- ◆原則、案内はできませんが、団体が事前に申し込みをして
いただければ、ご案内します。
- ◆車で来園される場合は、琵琶湖側臨時駐車場(無料)に駐
車してください。
- ◆庭園内で、喫煙・飲食・火気使用はできません。
- ◆飼犬・飼猫は、管理者が責任を持って管理し入園して
ください。
- ◆庭園内は便所がありません。彦根港公衆便所をご利用くだ
さい。

問い合わせ先 教育委員会文化財課 ☎26-5833、
FAX26-5899、Eメール: bunkazai@mx.hikone.ed.jp



▲安政5年5月3日 井伊直弼書状 長野義言宛て(後半部分)

彦根藩井伊家文書(彦根城博物館蔵、
重要文化財)は、幕末政治の一級史料
として知られています。
写真の古文書は、安政5年(18
58)5月3日に井伊直弼が腹心の
藩士長野義言に出した手紙です。直
弼は、4月23日に大老に就いたばか
り。長野は、直弼から京都行きを命
じられ、京都へ向かう途中でした。
当時の幕府の政治は、2つの課題
に直面していました。一つは、日米
修好通商条約の調印問題であり、も
う一つは、徳川將軍の跡継ぎを決定
する問題でした。条約調印は、幕
府がとってきた外交方針や制度を大
きく改めるものであったため、幕府
は孝明天皇の許可を得ようとしてま
したが、天皇は許可を与えず、今一度、
大名が相談し、意見を一致させてか
ら再度同うように命じました。一方
徳川慶福と一橋慶喜を候補とした將
軍の跡継ぎを天皇の命令により決め
ようとする動きがありました。当時、
天皇や朝廷が問題解決の鍵を握って

いたのです。この2つの課題を直弼
は大老として解決しなければなら
ず、長野は朝廷工作のために京都に
派遣されたのでした。
手紙からは、この時点で直弼が当
面の政治をどのように進めようと
していたのか、彼の考えがよくわか
ります。まず、將軍の跡継ぎの問題
については、5月1日に將軍徳川
家定から徳川慶福を跡継ぎとする
考えが直弼や老中に示されたこと
を記しています。跡継ぎが慶福に内
定したことは直弼の思惑どおりで
した。反対派が京都で朝廷に働きか
け、天皇が一橋慶喜を跡継ぎに指名
することを恐れる直弼は、長野に注
意を促しています。
他方、条約調印問題では、現在
大名に意見を尋ねていること、7月
27・28日ごろにアメリカと調印する
予定であること、それまでに天皇の
許可を得たいが間に合わない場合
は調印せざるをえないことを述べて
います。大名の意見を条約調印同意
でまとめ、再度天皇に伺い許可を得
7月下旬に調印。これが直弼が考え
ていたシナリオでした。

事運びませんでした。6月、急遽
アメリカ軍艦で下田から小柴(現在
の横浜市金沢区)沖にやって来たア
メリカの外交官ハリスは、イギリス
が程なく来日し幕府の脅威となる
ことを告げ、即時調印を迫りました。
直弼は、勅許を待つことを主張しま
したが、老中らとの相談の結果、調
印も仕方ないとの判断を示すこと
となり、結果、6月19日に条約調印
がなされたのです。天皇の許可を得
ず調印したことは、天皇の怒りをか
い、また、反対派からの批判対象と
なり、激しい政争が幕府政治で行わ
れていくこととなります。
直弼の手紙を一言一句にこだわ
り読み解くことが、当時の政治の様
相を明らかにすることにつながり
ます。彦根藩井伊家文書が幕末政治
の一級史料と言われる理由はここ
にあります。
(彦根城博物館学芸員 渡辺恒一)

写真の古文書は11月29日(日)
まで、彦根城博物館特別企画展
「政治の時代 - 井伊直弼と幕末
の群像 -」にて展示します。

直弼の政治方針を語る手紙

とまきの玉手箱

博物館からのメッセージ



第159回